

総合技術研究所の研究開発について

1 研究開発体系

「調査→開発→支援」という試験研究のプロセスに沿って、研究開発体系を、技術支援に必要な調査・研究等を行う「調査」、重点研究分野の技術開発を行い経営資源を重点投資する「開発」、受託研究や技術指導等を行う「支援」に整理しています。

【図1:研究開発体系】

プロセス	区分	内 容
調査 (リサーチ)	調査研究	○ 技術支援に必要な調査・研究等
	事前研究	○ 開発研究への移行へ向けた新技術の探索や調査・研究等
開発 (ディベロップメント)	開発研究	○ 民間企業等を支援するために必要な技術を開発する研究 ・開発研究移行の考え方に沿ったもの ・新技術の実用化を図るもの ～重点研究分野に該当する研究課題の中から外部評価を踏まえて決定～
支援 (サポート・サービス)	受託研究	○ 民間企業等からの受託研究等
	指導試験	○ 技術指導等 ～技術指導、情報提供等 ○ 試験検査等 ～依頼試験、設備利用等
	行政支援事業	○ 県の関係局の要請に基づき実施する調査・事業等

2 重点研究分野

研究開発の出口である「重点支援業種・重点支援品目等」と支援のために必要となる「技術領域」の両方を満たすものを平成23年度までの重点研究分野として設定しています。

【図2:重点研究分野】

	重点研究分野	
	重点支援業種・重点支援品目	技術領域
工業	輸送用機械、一般機械器具、電気機械器具、プラスチック製品	材料技術、製品製造、デザイン・設計、化学、金属加工、プラスチック加工、情報、資源環境
	食料品・飲料	バイオ関連（微生物・酵素利用、醸造） 食品（加工処理、鮮度・品質保持、機能性等）
農林水産業	野菜、花き、落葉果樹、常緑果樹（レモン）	生産性向上技術、品質向上・鮮度保持技術、環境保全・資源循環技術
	肉用牛	育種・繁殖（胚の生産・保存、繁殖、改良）飼養管理、飼料作物、環境
	牡蠣 地先定着型魚種	養殖、資源（漁獲物管理、多面的機能、栽培漁業）、環境保全
	スギ、ヒノキ	森林・林業（収穫）
保健環境	環境関連産業	循環型社会の構築（循環型社会への転換、廃棄物の資源化） ※ 他技術センターとの共同研究を推進する。
	危機管理 ※ 人の健康に係わる重大かつ緊急の危機管理事象に即応するもの（感染症や環境汚染等の予防、予知、拡大防止、究明に係る技術開発を必要とするものに限る。）	

3 評価制度

研究課題評価では、経営資源を重点投資する開発研究について、広島県研究開発評価委員会による外部評価（事前評価、中間評価、事後評価、追跡評価）を行っています。